

2015年7月10日

プレスリリース THE HAKONE OPEN-AIR MUSEUM

<http://hakone-oam.or.jp>

PRESS RELEASE

浅井裕介 絵の種土の旅

2015年9月19日（土）～ 2016年2月28日（日）

彫刻の森美術館 本館ギャラリー



《yamatane》 2014年 ライスギャラリー（ヒューストン、アメリカ）

浅井裕介

絵の種 土の旅

現代の新しい表現を紹介するシリーズ企画の第6回として、「浅井裕介—絵の種 土の旅」展を開催します。

浅井裕介（1981年生まれ）は、身の周りのものを素材として絵を描く作家です。その手法は、制作地で採取した土と水で描く〈泥絵〉シリーズや、壁にマスキングテープを植物のように貼り、その上にマーカーペンで描いていく〈マスキングプラント〉シリーズなどがあります。人や動物、植物をモチーフに、空間全体を大きなキャンヴァスとして、無数の小さな生命が息づく世界をダイナミックに表現しています。

本展では、巨大な木の根をイメージしたインスタレーション作品や大型パネルによる泥絵作品などを、空間を彫刻するように展示します。浅井の紡ぎ出す小さな物語がそこかしこに散りばめられ、神話的ともいえる世界観を体感できる、またとない機会となります。

展覧会概要

【展覧会名】	浅井裕介 — 絵の種 土の旅
【会 期】	2015年9月19日（土）～2016年2月28日（日）
【会 場】	彫刻の森美術館 本館ギャラリー（〒250-0493 神奈川県足柄下郡箱根町箱根町二ノ平1121）
【開館時間】	9：00～17：00（入館は閉館の30分前まで）
【休 館 日】	なし（年中無休）
【入 館 料】	大人1,600円／大・高校生1,200円／中・小学生800円
【交通手段】	箱根登山鉄道「彫刻の森」駅下車、徒歩2分
【主 催】	彫刻の森美術館（公益財団法人 彫刻の森芸術文化財団）
【後 援】	フジサンケイグループ
【協 力】	カモ井加工紙株式会社、ARATANIURANO
【出品点数】	絵画5～9点、インスタレーション2点（予定）

開催イベント

アーティストトーク

期 日：	9月19日（土）
時 間：	13：30～14：00
場 所：	本館ギャラリー
内 容：	浅井裕介氏と担当学芸員によるギャラリートークを行います。

公開制作（予定）

期 日：	12月19日（土）
時 間：	未定
場 所：	本館ギャラリー
内 容：	未定

内容が決まり次第、ホームページで広報します。

イベント

タイトル：	「火で見る日」
期 日：	9月19日（土）、12月19日（土）、2016年2月28日（日）
時 間：	15：00～17：00
場 所：	本館ギャラリー2階
協 力：	ベガサスキャンドル株式会社
内 容：	ろうそく100～150個を床に置き、その灯りで作品を鑑賞します。

本展の見どころと構成 ①

1階・中2階 フロア

外光が差し込む1階展示場には、壁一面を覆い尽くすほどの〈泥絵〉シリーズの大作《36匹の双子の鼠》が展示されます。この作品は、2013年に千葉県柏市にあるギャラリーで制作されたものです。当時の展示会場の隣の空き地で採取した土、園芸用の土など11種類の土を水に溶いて描かれました。浅井は基本的に展示する現場で制作し、〈泥絵〉ではその土地の土を採取して色のひとつに加えていきます。その土地の空気と記憶をからだで感じとり対話をしながら、その場所でのびのびと生きているものたちを浮かび上がらせるのです。

作品タイトルの通り、このネズミたちには双子の兄弟がいます。兄弟たちは1階を飛び出して、中2階を駆けめぐります。

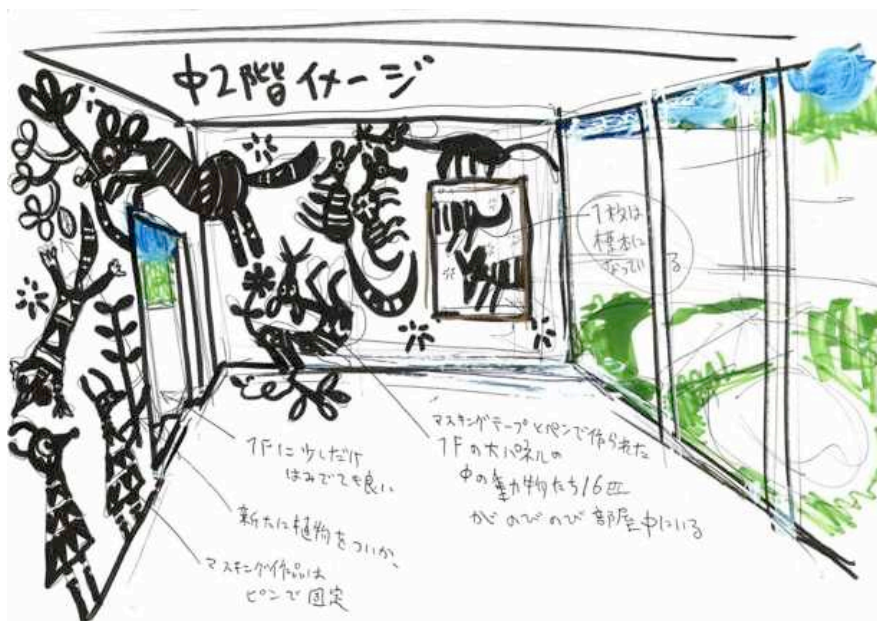
1階では《36匹の双子の鼠》のほか、新作の絵画作品や《ヤオヨロズサマ》と呼ばれる小さな精霊の陶彫を展示します。



《36匹の双子の鼠》 2013年



《ヤオヨロズサマ》 2014年 撮影：三嶋一路



展示イメージ

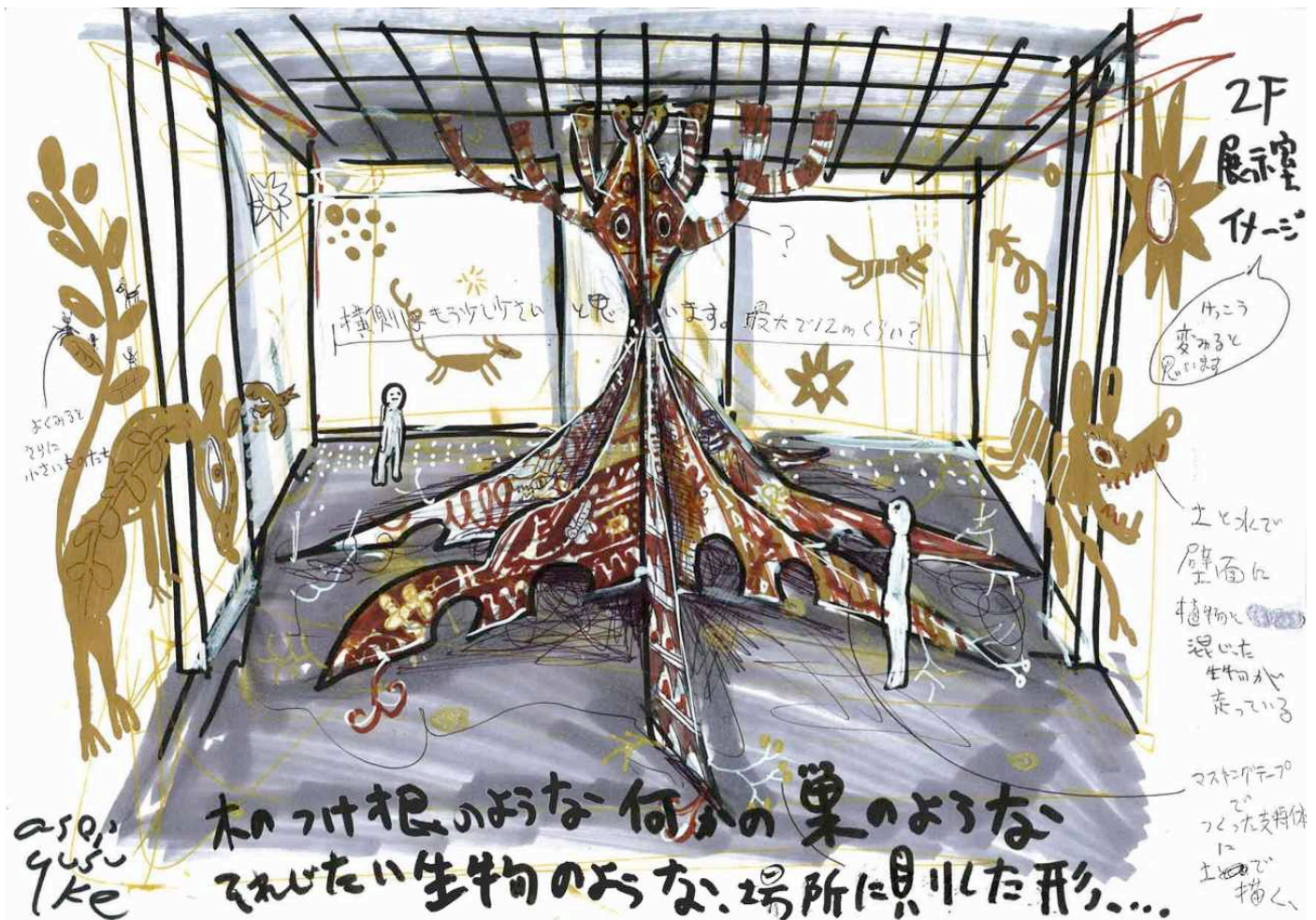
本展の見どころと構成 ②

2階フロア【新作】

〈泥絵〉シリーズと同様に浅井の代表作品である〈マスキングプラント〉シリーズでは、ペンとマスキングテープを植物のツルのように建物の壁面に成長させてきました。昨年からは、そのマスキングテープを彫刻のように立体的に空間の中にはりめぐらし、それを支持体にして絵を描いています。

滞在制作するこの新作では、マスキングテープで木の付け根あるいは、何かの巣のような形を作り出します。

そびえ立つ木は躍動感にあふれ、まるでそれ自身が生き物のようになるでしょう。辺りには、そこでひっそりと生活をする小さな生命や植物たちが泥絵で描かれます。



展示イメージ

作家略歴

浅井裕介 [あさいゆうすけ]

1981 東京都生まれ

主な個展

- 2008 「のびちぢみするつち」 Art Center Ongoing、東京
- 2010 「ショッピング」 三菱地所アルティアム、福岡
- 2012 「八百万の物語—強く生きる、繰り返す—」 青森公立大学国際芸術センター青森
「植物になった白線@みやざき」 宮崎県立美術館
- 2014 「yamatane」 Rice Gallery、ヒューストン、アメリカ
「この場所で作る」 ARATANIURANO、東京



撮影：三村健二

主なグループ展

- 2006 「取手アートプロジェクト2006 終末処理場プロジェクト —一人前のいたずら— 仕掛けられた取手」
取手旧戸頭終末処理場、茨城
- 2008 「KITA!! Japanese Artists Meet Indonesia アジアへ発信！日本の現代美術」 Jogja National Museum、インドネシア
「日常の喜び」 水戸芸術館現代美術ギャラリー、茨城
- 2009 「VOCA展 2009 現代美術の展望—新しい平面の作家たち」 上野の森美術館、東京
「第4回福岡アジア美術トリエンナーレ2009 共再生—明日をつくるために」 福岡アジア美術館
- 2010 「あいちトリエンナーレ2010 —都市の祝祭」 長者町繊維卸会館、愛知
- 2011 「水・火・大地 創造の源を求めて」 熊本市現代美術館
「MOTコレクション 特別展示 | 浅井裕介」 東京都現代美術館
- 2012 「浅井裕介×多田友充 ドローイング展 『おやすみ宇宙、おはようドローイング』」 Midori Art Center、青森
「六甲ミーツ・アート 芸術散歩2012」 六甲ケーブル山上駅舎、ケーブル車内、兵庫
- 2013 「瀬戸内国際芸術祭 2013 『アートと島を巡る瀬戸内海の四季』」 犬島、岡山
「Ohara Contemporary」 大原美術館、岡山
「生成のヴィジュアル—触発のつらなり」 タクロウソメヤ コンテンポラリーアート、千葉
- 2015 「未見の星座(コンステレーション)—つながり/発見のプラクティス」 東京都現代美術館
「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ 2015」 越後妻有里山現代美術館 [キナーレ] 南広場、新潟

主な受賞歴

- 2009 VOCA展 2009 / 大原美術館賞
- 2012 第61回 神奈川文化賞未来賞
- 2014 第24回 タカシマヤ美術賞

主なパブリックコレクション

大原美術館、岡山
熊本市現代美術館
東京都現代美術館